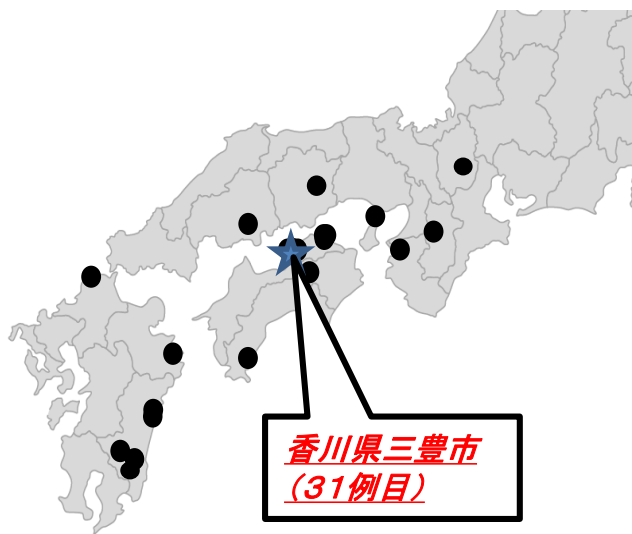


香川県の養鶏場で高病原性鳥インフルエンザの 疑似患畜確認！（国内31例目）

12月23日、香川県三豊市の養鶏場で高病原性鳥インフルエンザ（HPAI H5亜型）の疑似患畜が確認されました。国内31例目の発生となります。引き続き野鳥・野生動物侵入防止や、石灰散布等による消毒などの発生予防対策の徹底をお願いします。

愛玩用の家きん飼育者のみなさまにおかれましても、消毒の励行をお願いします。



★31例目

【農場の概要】

- ・農場所在地 香川県三豊市
- ・飼養状況 肉用鶏 約2.6万羽

【経緯】

- ・12月22日、死亡羽数増加の通報を受け香川県が立入検査を実施し、簡易検査で陽性を確認。
- ・12月23日、遺伝子検査の結果H5亜型であり、HPAI疑似患畜と確認。

▶家きん舎には様々な経路からウイルスが侵入します。今一度、点検・確認と補修をお願いします。

- ✓ 防鳥ネットなどによる野鳥やネズミ等の家きん舎への侵入
- ✓ 農場に入る車両の徹底消毒
- ✓ 家きん舎ごとに、専用の長靴や作業服の着用
- ✓ 家きん舎に出入りする時の手指消毒
- ✓ 家きん舎に入る人や物品の徹底消毒
- ✓ 踏み込み消毒槽は、消毒薬が汚れたら交換



▶毎日、健康観察を行い、異状を発見した時は直ちに当所へ通報を！